

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年4月6日（月）

2 確認箇所

- ・ 1 / 2号機SGTS配管近傍
- ・ 1 / 2号機共用排気筒（1 / 2号機開閉所前から確認）

3 確認項目

- （1） 1 / 2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の準備状況
- （2） 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

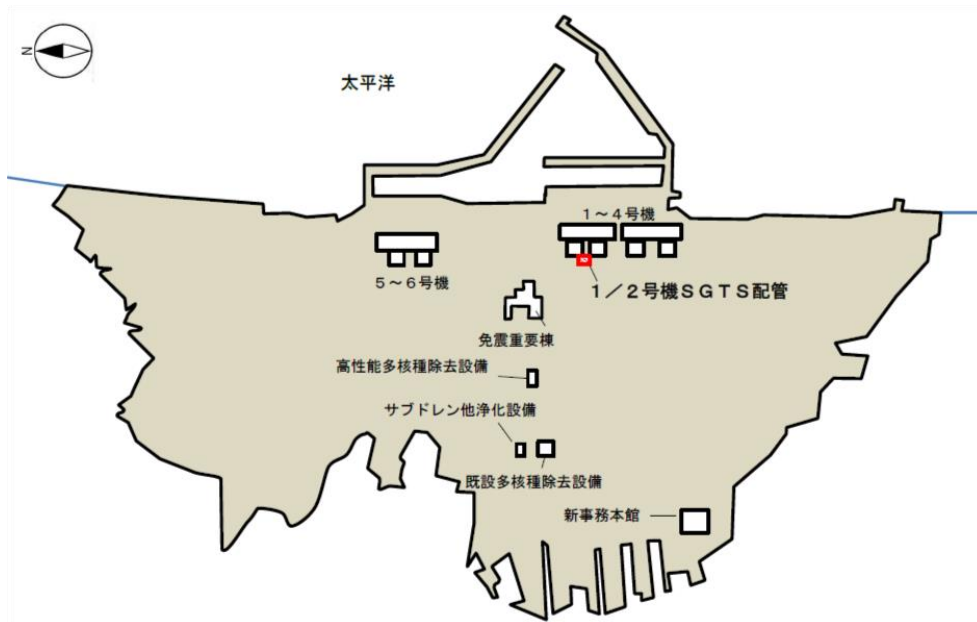
- （1） 1 / 2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の準備状況について

前回（令和2年3月27日、同月31日）に引き続き、1 / 2号機非常用ガス処理系（以下、「SGTS」という。）配管の撤去に向けた現場調査の準備状況を確認した。

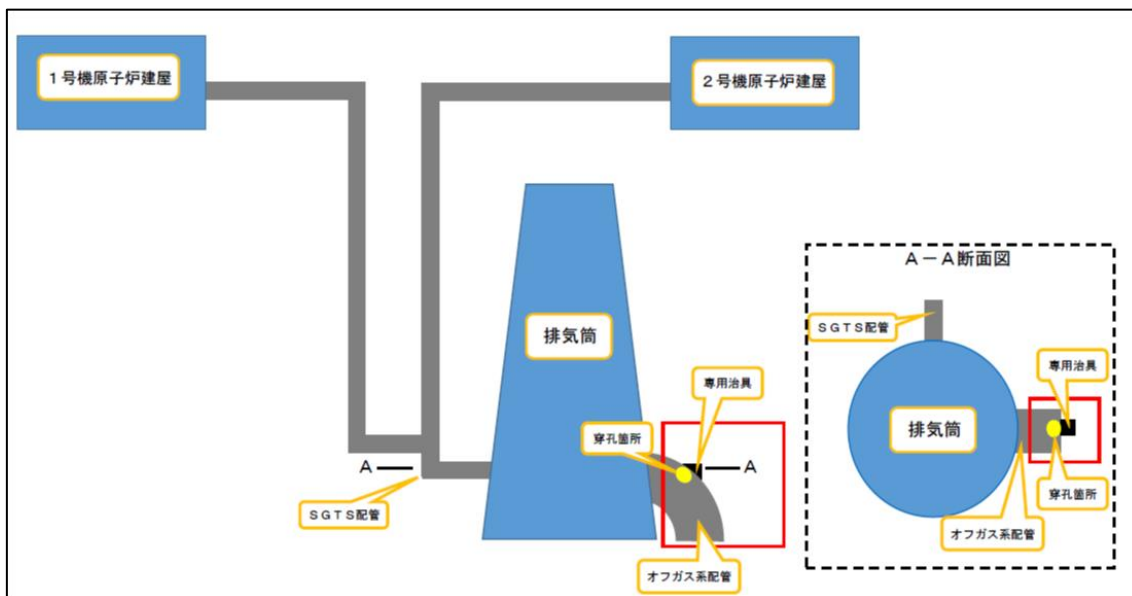
なお、本日は内部調査用のカメラを挿入するための2号機オフガス系配管の穿孔作業が実施された。

作業現場周辺の状況は（写真1）のとおり。

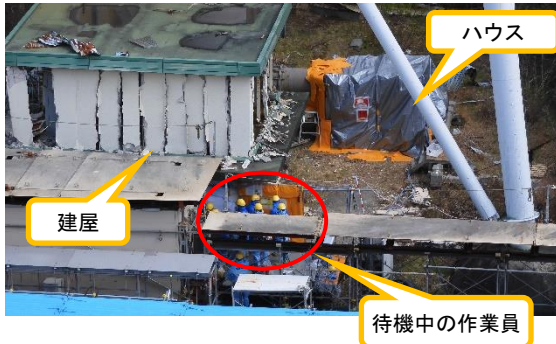
- ・ 穿孔作業は2号機オフガス系配管に設置したハウス内で実施され、ハウス内は重汚染エリアであることから、ハウス内で作業を実施する作業員は全面マスクにフードマスクを装着し、タイベック及びアノラック上下を着用していた。（写真2）
- ・ ハウス内での作業の様子は、ハウスから約5m離れた建屋内からモニターで確認していた。
- ・ 2号機オフガス系配管の穿孔は、当該配管の穿孔箇所に専用治具を据え付けて実施された。（図2）
- ・ 建屋内では、ダストモニターによりハウス内外のダスト濃度を常時監視していた。（写真3）
- ・ ハウス内の作業員と、建屋内の作業員は電話等により連絡を密に取りながら慎重に作業が実施されていた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 2号機オフガス系配管穿孔作業概略図 (図中の赤線はハウスを示す)



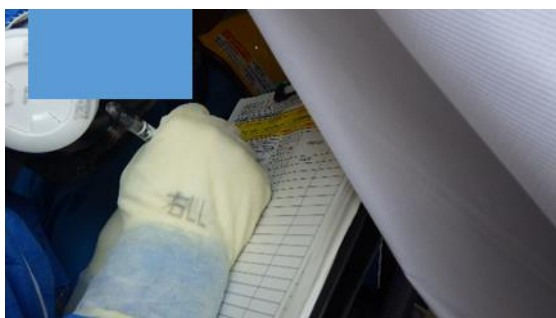
(写真1)
作業現場周辺の状況



(写真2)
ハウスへ移動する作業員の装備準備状況



(写真3-1)
ダストモニタの設置状況



(写真3-2)
ダスト濃度を記録する作業員

(2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2号機共用排気筒解体工事は昨年8月1日から作業を実施しており、排気筒上部の約60mを23ブロックに分けて解体する計画のうち、17ブロック目の解体が3月23日から開始され、4月3日に解体が完了し、4月4日から18ブロック目の解体が開始されたことから状況を確認した。

現場確認時の排気筒の状況は(写真4)のとおり。

- ・現地確認時は、解体作業は実施されておらず、解体装置のメンテナンスが実施されていた。（写真5）
- ・東京電力によると、現場確認時には18ブロック目の筒身の50%切断が完了しており、今後残りの50%切断を実施するとのことであった。



(写真4)
排気筒の状況
(11時50分頃撮影)



(写真5)
排気筒解体装置メンテナンスの状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。